



日本共産党区議会議員

こんにちは
伊藤和彦です

自宅 足立区花畑6-20-1 電話3859-6952
足立区役所 電話3880-5111(内線4650~4654)
日本共産党区議団 直通3880-5770
http://www5.family.ne.jp/~k-itou/index.html

暴走政治と対決し 暮らしと命まもる論戦



第三回定例会で日本共産党の代表質問は原発・平和、消費税増税問題、「経営改革プラン」と外部化、公の契約、新年度予算編成、ブラック企業、貧困ビジネスなど区民の暮らし・命を守る質問を行いました。区長など区答弁の要旨をお知らせします。



質問「福島原発は大量の汚染水が海に流出し非常事態・危機的状況であり、「収束宣言」を撤回し非常時との認識のもと事故対策に対応すべきと思うが区長はどう考

えるか。区長答弁「福島における原発事故につきましては大変憂慮しており一日も早い解決を願っております。当然のことながら、現在でもこの現状を収束に至っていないというのが私の認識に変化はございません。オリンピックにとらわれるあまり、事故対策、被災地支援、被災地復興が二の次になって島つては本末転倒

は、大変憂慮しており一日も早い解決を願っております。当然のことながら、現在でもこの現状を収束に至っていないというのが私の認識に変化はございません。オリンピックにとらわれるあまり、事故対策、被災地支援、被災地復興が二の次になって島つては本末転倒



でございませう。今後更なる速やかな、か

消費税増税の中止求めない

質問「消費税増税について、足立区民の大多数が景気の回復を実感できないなか、区民の代表として、増税中止を求めるときと思うかどうか。区答弁「消費税に関する国の動向を注視していますが、社会保障を持

区議会報告・懇談会

議会の報告とDVDなどを見ながら地域のみなさんと楽しく懇談します。気軽においでください。大島よしえ都議 伊藤和彦区議

- 10月13日(日)午後2時~4時 西保木間小学校・1階 多目的室
- 10月19日(土)午後1時~3時 淵江小学校・1階 会議室
- 10月20日(日)午後1時~3時 竹の塚小学校・1階 会議室
- 10月26日(土)午後1時~3時 花畑中学校・1階 会議室
- 10月27日(日)午後1時~3時 桜花小学校・1階 多目的室
- 11月3日(日)午後1時~3時 淵江第一小学校・1階 PTA会議室

外部化はすすめる

質問「経営改革プランでは、千住区民事務所、国保、会計・出納業務など新たな外部化に突き進もうとしている。矢継ぎ早な外部化はやめるべきと思うかどうか。区答弁「外部化については、検討段階から業務分析を経て、実施に至るまで数年程度を必要とする。区政を取り巻く環境の厳しさを増す中、

暮らしなんでも相談会

10月18日(金)午後2時から4時 場所・楓センター(保木間3-17-13) 医療・介護の専門家も一緒に相談を受け付けます。問い合わせは 070-6642-2851 伊藤区議まで

足立区公契約条例制定!



足立区議会は9月27日
本会議で足立区公契約条
例を全会派一致で可決し
ました。
議案は総務委員会で質
疑が行われ、6月から7
月に実施したパブリック
コメント(公的な区民の
意見)の意見の結果、区
民の条例制定を求める意
見が多くあり、公共工事

のダンピング受注の防止、
建設労働者の適切な賃金
の支払い、地域経済活性
化に役立つものとなる条
例です。
条例はすべての公共工
事契約に適用され、特に
労働報酬審議会には弁護
士などの学識経験者、事
業者、労働者の代表も参
加するものです。
8万都市の足立区で制
定されたことは画期的で
す。日本共産党は、ねば
り強く議会で取り上げ区
民とともに公契約条例制
定に奮闘しました。

を検討していく。
質問「ハローワークで紹介す
る職の中にもブラック企業が」
との指摘もあるが、足立区内の
ブラック企業の実態はどうか。
区答弁「足立区内のいわゆる
ブラック企業の実態は、ハロー
ワーク足立、足立労働基準監督
署ともデータとして把握してい
ないとのこと。実態把握は一義
的には東京労働局の責任で行わ
れると考えるが、雇用・生活総合
相談窓口など区の就労事業の中
で疑われる事案が発見された場
合は、関係機関への情報提供を

行っていく。厚生労働省は、極
端に離職率の高い企業について
は、調査後、悪質な場合は公表
すると言う方針を示しており、
9月2日東京労働局長と区長が
面談した際にも、東京労働局と
してもこの問題に積極的に取り
組んでいくとの説明があった。
なお、悪質な企業と公表された
場合、必要に応じて指名停止等
の処分を検討していく。
学校統廃合は強行姿勢
質問「区は、8月に江北・鹿浜
地域の学校統廃合計画(案)を

示し、4年間で8校を4校にす
るとしている。大規模開発によ
る人口増を考慮せずに計画を策
定した。
計画をすすめれば5438人分
の避難所がなくなる。区側の意
見を押し付けるのではなく声を
聞き反映させる立場をとってこ
なかつた。地域住民に計画を示
し、意見、要望を聞くべきでは
ではないか。
区答弁「江北・鹿浜地域の小
中学校の学区内の就学前居住
人数は、多くの年代ではほぼ横ば
いである。施設更新の観点など

踏まえ、今回の適正規模
適正配置実施計画(案)
を示したものを。統合によ
り、教育環境のさらなる
向上を図り、学校生活を
より充実させていく。し
たがいまして、本計画を
見直す考えはございませ
ん。
区民のみなさんのこ
意見、要望をお寄せ下
さい。
(伊藤和彦)

住民賛歌

⑥ 伊藤和彦

希望ある未来を

私が参加した会合や対話のなかでよくだされるのは、「日本共産党は旧ソ連、中国と同じだ」と思っている人が多いことです。



旧ソ連については、スターリン以来の横暴な覇権主義(武力や臨機応変のはかりごとをもって競争者を抑えて得た権力)で日本の平和、労働運動などへの干渉、チェコスロバキアやアフガニスタンへの侵略などに対して、日本共産党は「こんなやり方は社会主義と縁もゆかりもない」と、頑強にたたかいつづけた自主独立の党なのです。

スターリン以後の旧ソ連は「社会主義」を看板

にしなが、人間の自由も他民族の自由も認めない、暴圧のやり方は絶対許さないと言うのが日本共産党の確固とした立場です。

では中国はどうか。日本共産党は今の中国を「社会主義に到達した国」とは見えていません。中国では「社会主義をめざす新しい探究」が行われていますが、そこには「政治上、経済上の未解決の問題」がたくさんあります。そうした問題について志位和夫委員長、不破哲三さんらは節度を持って節々で言うべきことを先方に伝えてきました。歴史的にも明らかになっています。その時のことを詳しく論文やパンフレットで紹介し発表しています。理性的で冷静な活動をしてきたのは日本共産党です。(つづく)

都営住宅 直接受け付け募集

受付日時と場所

10月16日(水) 午前9:30~午後4:00まで

都庁第二本庁舎 1階ホール

10月17日(木)、18日(金) 9:30~4:00まで

東京都住宅供給公社 3階大会議室

(渋谷区神宮前5-53-67コスモス青山3階)

10月19日(土) 午前9:30~12:00まで

東京都住宅供給公社 3階大会議室

必要なもの 100円分の切手 黒色のボールペン 所得金額の分かるもの この募集は「病死などで発見が遅れた事故住宅」です。分からないことがありましたら伊藤070-6642-2851まで